

学校だより

『認めて、褒めて、励まして、信じて、待って、見届ける』



南門付近のピンク色のバラ

☆☆☆ 1年間の振り返り ☆☆☆

5日（金）で前期が終了し、連休明けの9日（火）より後期が始まりました。後期始業式では、児童代表の3年生が、前期にがんばった「友達づくり」や「わり算」「運動会」について、作文の発表をしました。しっかりとした発表に、皆で拍手を送りました。

次に、4/9に行った始業式での「三つの約束」の振り返りをしました。



- 1 挨拶・返事・靴そろえ
- 2 「吉東小合言葉」を守ろう
(人の悪口言いません わがままなことやりません
学習しますこつこつと みんな仲よくやりとげて
明るく元気 東の子)
- 3 「家庭学習4か条」を守ろう

自分が前期にがんばったこと、これからがんばりたいことを伝え合いました。お子さんにがんばったこととがんばりたいことを聞いてみてください。後期も、「生き生き学び笑顔あふれる吉東小」を目指してがんばります。御理解御協力をお願いします。

がんばった運動会の思い出

感動の運動会の思い出を表現した子どもたちの作文を紹介します。

- ・「ダンス」が一番楽しかったです。また来年もやりたいです。(1年I・K)
- ・ぼくは、運動会でがんばったことが3つあります。1つ目は、「よういどん」です。がんばって走って、1位になりました。2つ目は、ダンスです。むずかしいのでたくさん練習して、本番はまちがえないようがんばりました。3つ目は、「全員リレー」です。がんばって走って、1番でバトンを渡しました。来年は、代表リレーに出られるように、がんばります。(2年I・H)
- ・運動会でがんばったことは、2つあります。1つ目は「組体操」です。特に「ピラミッド」と「山」です。どちらも一番上なので、バランスをくずさないように気を付けました。友達は、「とんぼ」がすごく上手にできていました。指先がぴんと立っていて、きれいでした。2つ目は「全員リレー」です。全力で最後まで走りました。でも、抜かせませんでした。白はちまきチームは、3位でした。白組は負けてしまいましたが、「組体操」やダンスが上手にできて、良かったです。(3年I・R)
- ・運動会でうれしかったことが3つあります。1つ目は「台風の目」です。途中から負けていたけれど、最後に逆転して、勝ったからです。2つ目は「全員リレー」です。最初は1番最後だったけれど、途中から抜かして、1位になりました。でも、最後は4位になり、残念でした。3つ目は、赤組が優勝したことです。来年も優勝したいです。(4年T・R)
- ・運動会で心に残ったことは、2つあります。まず、係の仕事に責任をもって取り組めたことです。審判係として働きました。ゴールテープの調節が難しかったです。タイミングがずれて、怪我でもしたら大変だと思い、ときどきしました。みんなが笑顔でゴールする

姿を見て、審判係の仕事をやり遂げた誇りを感じました。2つ目は、応援団です。いつもより真面目に応援してくれた子、声がかけても一生懸命声を出そうとがんばった子もいました。応援団は、楽しい役目でした。そして、何よりもみんなが協力して勝てたことがうれしかったです。(5年U・K)

・運動会で学んだことは、「楽しむ」ということです。今まで、絶対に勝つとしか思いませんでした。でも、今年は、みんなで協力して低学年をまとめたり、一緒にダンスを踊って楽しみたいと思いました。6年生にとって最後の運動会だからこそ、去年よりも楽しむことができたと思います。今年の運動会は、みんなで協力する楽しさやすばらしさを知ることができた運動会でした。(6年U・A)



10/1(月)音楽集会を行いました。今回は、4、5年生の発表です。二部合唱やリコーダーの二重奏などの、きれいなハーモニーや響きが体育館に広がりました。聴いた感想を発表することで、がんばりを認め励まし合う場にもなっています。保護者の皆さんの参観、ありがとうございます。発表会の案内をいたしますので、どうぞ御参観ください。



給食の時間に、学年代表児童の作文発表を行っています。遠足や運動会など、行事ごとに書いた作文を全校生の前で発表したり、友達の作文を聞き合ったりします。全校生みんながランチルームで会食できるのは、小規模校の良さです。それを生かして、子供たちの意欲や表現力を伸ばしたいと考えています。



🌸 吉東小フェスティバルのお知らせ

11月3日(土) 8:30~12:05 (場所:各教室、体育館など)

今年も、地域ボランティアの方たちと「親子体験活動」をします。「お琴」や「プログラミング」など、10種類の体験学習から児童が1つの体験を選びます。そこに、保護者などにも入っていただき、一緒に活動します。9名のボランティアの方やおじいちゃん・おばあちゃんたちに、本校児童のためにそれぞれの得意分野で御指導いただきます。どんな「親子体験活動」が展開されるか、楽しみです。

8:30~ 9:10 「合唱」「ボランティア感謝の会」

9:20~10:20 「親子体験活動」

11:15~11:35 「振り返りの発表」

11:35~12:40 PTAバザー



保護者の皆様はもちろん、おじいちゃん、おばあちゃん、地域の皆様の御参加をお待ちしております。

学校だより

『認めて、褒めて、励まして、信じて、待って、見届ける』



秋の彩り
ムラサキシキ
ブ



教育委員会事務局からのお知らせ

◎ 南河内地区における学校給食について

下野市では、小中一貫教育を推進するため、南河内中学校の敷地内に薬師寺小学校・吉田東小学校・吉田西小学校を集約し、施設一体型の義務教育学校の創設を進めています。

これに伴い、義務教育学校をはじめ南河内第二中学校区を含めた南河内地区全体の学校給食のあり方等について検討するため、7月に「下野市南河内地区学校給食検討委員会」を設置したところです。現在、検討作業を進めていますが、結果等につきましては、後日改めてお知らせいたします。

＜学校給食の運営方式は以下の4パターンで検討しています＞

- ①自校方式：各学校の調理場で給食を調理し、児童生徒に提供する。
- ②センター方式：4校分の給食を一括してセンターで調理し、各校に配送する。
- ③親子方式：義務教育学校の調理場（親）で、祇園小・緑小・南河内第二中の3校（子）分の調理を行い、各校に配送する。
- ④自校＋親子方式：義務教育学校は自校方式。祇園小（親）で緑小・南河内第二中（子）分の給食調理を行い、各校に配送する。

※会議の内容については、市ホームページに会議録を掲載していますのでご参照ください。

10/4（木）に2年生が「命のお話」の授業を行いました。市の看護師や助産師、保健師の市民団体「えがおのたまご」の皆様が、毎年授業を実施してくださっています。人形劇や紙芝居、産道体験などを通して、命の大切さや自分を大切にすることについて学びました。保護者からのお手紙をいただきましたので、命について親子でともに考えることができたことと思います。誕生したときや今ある命について、感激や温かさを感じることができた時間でした。



9/26（水）理科室から火災が発生したという想定で、避難訓練を行いました。今回は昼休みに実施。子供たちが自主的な避難（あわてずに安全な行動）ができることをめあてにしました。事前指導でも、訓練の日時は知らせません。避難開始の合図から2分ほどで、すみやかに避難できました。すばらしい判断と避難行動でした。日頃から「自分の命は自分で守る」ことができるよう、危険予知力と危機回避力を身に付けさせたいと考えています。



読書で「1日4食」



3年前から始めた毎週金曜日の「家読」。御家庭では習慣化してきたことと思います。読書は豊かな想像力や心の育成はもちろん、学力向上にもつながります。

10月からALTによる読み聞かせを始めました。子供たちは、絵を見ながら英語の単語や会話を聞き取り、想像を広げて本の世界に浸っている豊かな時間です。

10/15～28までは「校内読書旬間」です。読書の楽しさや充実感を味わわせるよう、さらに工夫します。御家庭でも、ぜひお子さんと一緒に読書を楽しんでください。



大人が読書を楽しみ、大切な栄養だと教えることも大切です。毎日、10分でも読書が続ければ、1日3食の栄養と読書の栄養で4食になり、心にも栄養がいきわたります。



子供を「本が好き！」にする工夫



我が子を「本が好き！」にするには、家庭でどんなことがよいのか？教育心理学者 秋田喜代美氏が次のような工夫を提案しています。

1 「読みなさい」と言わない。

…何事も強制されたことは前向きになれない。「おもしろそう」と思う本を読むことが、「好き」への第一歩。

2 図書館に行く。…本がたくさんある図書館なら、読みたい本が見つかるはず。読み聞かせ会などのイベントに参加するのもお薦め。

3 読みたい本のリストや読書アルバムをつくる。

…図書館でお薦めの本リストをもらい、気になる本に○を。順番に読むのも楽しい出会いに。本の写真をノートに貼り、記録を残す。

本にはたくさんの人生が描かれているので、そこから様々な生き方や考え方を学びます。また、読むことで自信や意欲など、生きる力も培われることでしょう。



生活習慣、地域への関心が高い 6年生



6年生が4月に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果について、お伝えします。

＜学力調査＞

◎「国語A（知識）」は全国平均正答率と同程度、「国語B（活用）」は全国平均正答率より上回っている。

▼「国語A」では、「主語と述語の関係に注意して文章を書く」、「国語B」では、「目的や意図に応じて文章を書く」に課題が見られる。

◎「算数A（知識）」は全国平均正答率と同程度、「算数B（活用）」は全国平均正答率より上回っている。

▼「算数A」では、「小数のわり算や円周率の意味」、「算数B」では、「二つの数量の関係を言葉や数を用いて説明する」に課題が見られる。

◎「理科」は全国平均正答率より上回っている。

▼「実験結果から言えることだけに限定して、結論を書く」に課題が見られる。

＜学習状況調査＞

◎「朝食を毎日食べている」「地域行事に良く参加し、地域の方とふれ合っている」「宿題をきちんとやり、読書が好き」など、好ましい傾向が見られる。

▼「人の役に立つ人間になりたいと思うか」「地域社会などでボランティア活動に参加する」では、課題が見られる。

※＜改善策＞については、11月号に掲載します。

